

# 平成30年度事業報告書

社会福祉法人 交楽会  
法人本部

## 平成30年度 事業報告

交楽会本部

今年度は、社会福祉法人制度改革に対応した役員体制も整い、職員の確保や運営強化に努めた。近隣高校、大学への訪問に理事長と石崎理事も加わり新卒求人の開拓を図り、新年度は2名の新卒者を採用できた。また、ハローワーク等の求人も積極的に活用し、年度中に24名の正職、臨時、パート職員を採用している。

今後の人材不足に対応するため定年年齢と再雇用期間を延長する就業規則、再雇用規程及び給与規程の改正を行っている。また労働関係法令に対応して諸規程も改正し、職員の労務環境の改善に努めている。財務面では、各施設の前年度決算を精査合算し、現況報告書として法人の運営・財政状況を電子開示システムで公表している。

### ① 評議員会・理事会の開催

30年度は評議員会を3回、理事会を5回開催した。開催日時、議案等については別表のとおりである。

### ② 役員研修及び職員研修等

11月28日(木)～29日(金)「北海道・東北ブロックセミナー」(青森市)に役職員7名が参加し、社会福祉法人をめぐる情勢や経営について研修した。本部主催の研修会として5月31日(木)事務担当打合せ会(参加者11名)、2月25日(火)人事考課評定者研修会(参加者11名)、3月20日(火)新任職員研修(参加者17名)を実施。また就業規則及び給与規程の改正に際し、事前に各施設毎に説明会を開催し職員の理解を深めた。

### ③ 監事監査及び外部監査の実施

29年度運営状況等について、5月25日(金)本部、28日(月)もりよし荘・森泉荘、29日(火)森幸園・もりの郷の監事監査を実施した。

外部監査は北林会計事務所が8月3日(金)もりの郷、8月6日(月)もりよし荘、8月9日(木)本部について実施している。また貸借上の未収金、未払金等の過去の不明金について、北林会計事務所の指導も仰ぎ金額を特定し精算処理している。

### ④ 人事異動・採用・退職

異動…30年度は、4月1日付でもりよし荘に2名、森幸園に4名、森泉荘に2名、もりの郷に4名と12名の人事異動、7月18日付で森幸園に1名の人事異動を実施している。

採用…新卒者の正職員採用試験に3名が受験し、2名が31年4月1日付け採用となっている。また有資格者を年度途中で正職員として3名採用している。

退職…定年年齢の改正により今年度の定年退職者はなかった。年度中に正職員4名が退職している。

### ⑤ 森幸園大規模工事への対応

森幸園の「ディールーム増築・改修工事」について、東京都の施設整備費補助事業であるため、都が定めた契約マニュアルを遵守し、理事会を開催して入札等適正に実施できるよう計画を進めた。

### 今後の課題

- ・人材確保及び人材育成～職員配置、人件費適正化の検討及び人材育成、広報活動(法人イメージ向上)
- ・効率的な運営と安定経営～財務規律の強化、もりの郷の分割運営の推進、地域における公益的な取り組みの検討実施

### ○理事会開催状況

	日 時	出 席 状 況
第 1 回	6 月 12 日(火) 14:00	理事 5 名出席、監事 2 名出席、欠席理事 1 名
第 2 回	7 月 31 日(火) 15:00	理事 6 名出席、監事 2 名出席
第 3 回	12 月 12 日(水) 13:55	理事 6 名出席、監事 2 名出席
第 4 回	3 月 4 日(月) 10:30	理事 6 名出席、監事 2 名出席
第 5 回	3 月 22 日(金) 14:00	理事 6 名出席、監事 2 名出席

### ○評議員会開催状況

	日 時	出 席 状 況
第 1 回	6 月 29 日(木) 15:00	評議員 6 名出席、理事 6 名出席、監事 2 名出席、 欠席評議員 1 名、
第 2 回	12 月 19 日(水) 14:55	評議員 6 名出席、理事 6 名出席、監事 2 名出席、 欠席評議員 1 名、
第 3 回	3 月 29 日(金) 14:00	評議員 6 名出席、理事 5 名出席、監事 2 名出席、 欠席評議員 1 名、欠席理事 1 名

### ○合同会議

回数	月 日	回数	月 日	回数	月 日
第 1 回	4 月 24 日(火)	第 5 回	8 月 29 日(水)	第 9 回	12 月 27 日(木)
第 2 回	5 月 22 日(火)	第 6 回	9 月 25 日(火)	第 10 回	1 月 29 日(火)
第 3 回	6 月 25 日(月)	第 7 回	10 月 22 日(月)	第 11 回	2 月 26 日(火)
第 4 回	7 月 31 日(火)	第 8 回	11 月 27 日(火)	第 12 回	3 月 26 日(火)

### ○施設長会議

回 数	月 日	回 数	月 日
第 1 回	4 月 24 日(火)	第 8 回	12 月 27 日(火)
第 2 回	5 月 22 日(火)	第 9 回	1 月 29 日(火)
第 3 回	6 月 25 日(月)	第 10 回	2 月 20 日(水)
第 4 回	8 月 29 日(水)	第 11 回	2 月 26 日(火)
第 5 回	9 月 25 日(火)	第 12 回	3 月 4 日(月)
第 6 回	10 月 22 日(月)	第 13 回	3 月 5 日(火)
第 7 回	11 月 27 日(火)		

### ○評価作業部会

	月 日	参加人数	講 師
評定者研修(8回)	2 月 25 日(月)	11 名	中尾経営事務所 代表 中尾 雅樹 氏

# 平成30年度事業報告書

社会福祉法人 交楽会  
介護老人保健施設 もりよし荘

# 平成 30 年度 介護老人保健施設 もりよし 荘事業報告

## ◎施設運営

利用者支援、行事関係において、夕涼み会や地域福祉講座は、多くの住民の方に参加いただき地域交流行事として定着している。これまで6月に実施してきた運動会は、利用者の重度化に伴い今年度から中止した。職員不足、重度化の影響により行事をユニット単位で行う方向にシフトしてきている。感染予防は、秋口に風邪の流行がみられたものの、冬期間は職員の予防意識も高まり、感染予防委員会を中心に、インフルエンザ発生と同時に迅速な対応を図り蔓延を防げた。

管理運営面においては、入所、通所共に利用率は目標を下回り施設運営は厳しさを増している。職員一人一人が施設の現状を把握し、危機感をもつことの必要性を感じている。利用料の受領について、事務窓口での現金収納を基本としてきたが、家族の要望もあり、今年度から自動振替による収納も進めた。設備の老朽化から屋根など大規模修繕が必要な時期になっている。2月には浴槽天井に漏電個所が見つかり、今後、浴室内腐蝕への対応も含め改修が必要な状態である。

## ◎重点目標取り組み報告

### ・入所・短期入所

- ① 各種加算算定への取り組み強化  
老健の報酬区分が「在宅強化型」「基本型」「その他」に細分化され、もりよし荘の報酬区分は「基本型」となっている。新たに褥瘡、所定疾患Ⅱ、リハビリテーション提供体制加算の算定につながった。特に褥瘡に関しては、委員会を立ち上げ勉強会を開催した。
- ② 利用率の向上  
目標利用率 96%に対し、94.3%であった。上半期を 94.8%で折り返し、下半期はさらに入所率の向上に努めたが、9 月以降風邪の蔓延等により入院した方や亡くなった方もあり目標に届かなかった。30 年度入所者 44 名（越冬入所・再入所含む）、退所者 44 名（入院 23 名、死亡 15 名、その他 6 名）だった。医療機関からの入所が増えていることから、医療連携室との連絡を密にスムーズに入所できるように努めた。
- ③ 関係法令の遵守、質の高いサービスの提供  
高齢者虐待、身体拘束、個人情報等の関係法令を遵守しサービス提供に努めた。特に、緊急やむを得ず身体拘束（説明、同意のもと）に至ったケースについては、毎月解除に向けて評価。3 ヶ月ごとに委員会を開催し指針を整備した。また全体で身体拘束についての研修会を開催し、拘束のないケア、事故対策について学んだ。
- ④ 各個人のスキルアップ及びモチベーションの向上  
職員それぞれ、上司と面談、話しあいにて目標設定し取り組み、頑張りを評価した。それぞれの良いところを見つけ、もっと伸ばせるよう言葉をかけた。また資格取得のための勤務の調整等バックアップ体制をとり、職員 2 名が介護福祉士資格を取得した。資格を持つ事で自信や仕事の幅も広がり、モチベーションの向上にもつながった。

- ⑤ 効率的な業務改善への取り組み  
利用者の高齢化、職員不足に伴い、行事の見直しを図った。また各ユニットが別々に開催していた誕生会を同一日に対応する事で、事前の準備（買い物代行）など負担軽減にもつながった。またリネン関係の見直しも図った事で特に、シーツ交換などの作業が改善された。
- ⑥ 接遇マナーの向上  
接遇マナーの向上に向け、毎週（月曜日）の全体申し送りにて、話し方や身だしなみ、笑顔を忘れずに対応するよう話している。また日頃から利用者・家族の要望や意見、感想を拾い上げている（施設サービス計画書や配布物にご意見欄）。お便りの配布や利用者・家族の意見等を積極的に聞くことで、利用者家族との連携を深め、苦情の発生防止にもつながった。
- ⑦ 働き甲斐のある職場作り  
委員会活動や行事活動等を通じ、互いの意見を尊重し、一つのことをやりとげた達成感や地域貢献など社会的にも信頼され、地域や家族から感謝の言葉を頂いた。委員会等から提出された意見をくみ取り、現場からの気づきや工夫をケアに反映させて、風通しの良い職場づくり、職員の仕事へのモチベーションの向上にもなっている。

## ・通所リハビリテーション

- ① 平均通所利用率 70%に対し、67.4%の実績であった。新規利用者也獲得し利用率の向上を目指したが、サービスの変更や、入院等が多く目標を割り込む結果となった。
- ② サービス計画を軸に在宅生活が継続出来るよう、利用者一人一人状態にあったサービス提供に努めた。担当者会議で、状況報告、本人、ご家族の意向も尊重しながらサービスの提供にあたった。
- ③ ご家族及び関係機関との関係性を大切にしながら、迅速、確実、誠実な情報提供を心がけ事業所としての信頼が得られる様努めた。
- ④ 日常的に危機意識を保ち業務にあたっていたが、入浴中の事故が発生してしまった。その後は、朝のミーティングで、その日の利用者の事故を確認し、再発防止に努めている。感染症については、蔓延なく1年を経過することができた。

## ・居宅介護支援事業所・在宅介護支援センター

- ① 実地指導において、遅滞なく簡潔に記録を整備するよう、また、アセスメントの整合性について指導を受け、改善の取り組みを行った。
- ② 主任介護支援専門員研修を修了した。責任と自覚を新たに業務遂行した。
- ③ 31年度以降の北秋田市地域包括ケアの地固めとして体制整備に協力した。

## 事業報告書

	管 理 ・ 運 営 関 係	利 用 者 関 係
4月	1日 もりよし荘便り(かけはし)発行 2日 理事長訓示 7日 産業医来荘 児玉先生(月初土曜日) 12日 開設記念日(27回目) 13日 春のクリーンアップ 17日 県老健施設通常総会(秋田市) 19日 運営会議 20日 職員互助会(さくら会)総会	2日 理容の日 9日 美容の日 16日 理容の日 22日 各ユニットお花見 23日 美容の日
5月	11日 自動ドア点検 17日 運営会議 18日 職員健康診断(保健事業団) // 消防立入検査 // 大雨予報によりもりの家利用者受入れ(1泊) 28日 監事監査	7日 理容の日 8日 米内沢祭典・神輿見学 11日 米内沢小運動会前日祭 よさこい披露 14日 美容の日 21日 理容の日 28日 美容の日 29日 比内支援学校たかのす校中学部交流会13名 30日 チャレンジデー(神奈川県寒川町)
6月	4日 ワックスがけ～7/22日まで 7日 暖冷切替 灯油地下タンク法定点検 11日 窓ガラス清掃(～12日) 13日 消防設備点検 19日 秋田県集団指導(通所) 20日 総合避難訓練 21日 運営会議	4日 理容の日 5日 通所ドライブ開始 11日 美容の日 18日 理容の日 25日 美容の日
7月	4日 電気設備点検 // ホール天窓修理 10日 危険物取扱者講習、安全運転管理者講習 13日 業務用洗濯機・乾燥機保守点検 18日 浄化槽法定検査 // 厨房ガス釜更新工事 19日 運営会議 23日 給食施設巡回指導	2日 理容の日 9日 美容の日 16日 理容の日 17日 比内支援学校たかのす校中学部交流会4名 23日 美容の日 27日 夕涼み会 柏木妙子ショー他 // 苦情解決相談コーナー 31日 24テレビ取材 通所1名 入所2名
8月	6日 外部監査(北林会計事務所) 9日 煤煙測定 19日 浴室大掃除 21日 献血車来荘 23日 運営会議 27日 車椅子贈呈式(第一生命) 30日 秋田県処遇指導	13日 米内沢共勇会駒踊り // 美容の日 26日 誕生会 27日 美容の日 ※ お盆帰省利用者～外出7名、外泊12名
9月	13日 エレベーター点検 14日 貯水槽・通所FF暖房器清掃点検 20日 運営会議 23日 電気設備年次点検(停電) 27日 特浴修理 // 簡易専用水道検査(保健事業団)	3日 理容の日 6日 敬老会(米内沢保育園児演芸披露) 10日 美容の日 11日 利用者結核検診(直接・間接) 17日 理容の日 23日 100キロマラソン応援 24日 美容の日 30日 誕生会

	管 理 ・ 運 営 関 係	利 用 者 関 係
10月	1日 もりよし荘だより(かけはし)発行 2日 レジオネラ水質検査(一般浴 特浴 ボイラー) 3日 空調冷暖切替 14日 介護支援専門員資格試験日(1名) 15日 秋田県社会福祉大会(勤続表彰対象4名) // 浄化槽ポンプ・受水槽配管工事 16日 第8回地域福祉講座 18日 運営会議・職員会議 19日 秋のクリーンアップ 23日 居宅介護支援事業所実地指導 28日 秋田県老健バレー大会(鹿角アスパム 優勝) 29日 大型加湿器2台(冬期間レンタル)設置	1日 理容の日 3日 ふきユニットドライブ 4日 うめユニット散歩・買い物 8日 美容の日 15日 理容の日 16日 ふきユニットドライブ 22日 美容の日 28日 誕生会 30日 比内支援学校中学部交流会 通所
11月	5日 職員インフルエンザ予防接種開始 7日 避難訓練(夜間想定)、通報訓練 9日 夜勤従事者健康診断 13日 北秋田市福祉大会(永年勤続表彰対象5名) 15日 運営会議 // 非常用照明装置法定点検 20日 保健指導(6名)	5日 理容の日 12日 美容の日 // インフルエンザ予防接種 13日 結核健診精密検査3名 19日 理容の日 21日 感染レベル1対応 26日 美容の日
12月	4日 精神保健協会北秋田支部総会 5日 就業規則等改正(定年延長)説明会 20名 // エレベーター点検 11日 消防設備点検 14日 互助会忘年会 20日 運営会議 23日 浴室清掃	3日 理容の日 10日 美容の日 17日 理容の日 23日 クリスマス会(各ユニット) // 美容の日 28日 餅つき大会 31日 大晦日 ※お正月外泊11名 外出2名
1月	4日 施設長年始訓示 16日 2階廊下エアコン工事 17日 電気設備点検 // 運営会議 18日 調剤分包機納品 22日 居宅介護支援事業所再実地指導 27日 介護福祉士国家試験(3名受験 2名合格) 29日 業務用大型洗濯機・乾燥機保守点検	2日 各ユニット新年会 14日 美容の日 15日 面会規制開始 21日 理容の日 27日 誕生会 28日 美容の日
2月	20日 安全運転管理者総会 21日 運営会議 23日 建築基準法第12条関係建物法定点検 27日 調剤業務委託契約調印	3日 節分 各ユニット豆まき 4日 理容の日 11日 美容の日 18日 理容の日 24日 誕生会 25日 美容の日
3月	4日 煤煙測定 14日 運営会議 15日 市社協介護予防給付システム説明会 20日 法人新任職員研修 3名 27日 職員会議 29日 職員互助会送別会	3日 ひな祭り 各ユニット 4日 理容の日 11日 美容の日 18日 理容の日 25日 美容の日 面会規制継続中



# 平成30年度事業報告書

社会福祉法人 交楽会  
障害者支援施設 森幸園

## 【事業・運営】

### 1、総 括

施設整備については、高齢化に対応した浴槽の整備、強度行動障害に対応したデイルームの整備を目的とした増改築工事の補助金申請を進め、年度末に内示を受けることができた。

施設運営については、法人の事業転換に伴いグループホームでの生活を希望していた利用者の移行を行うと共に、新規利用者の確保を図った。入所・生活介護事業は計画を上回る実績となったが、就労継続支援 B 型事業は計画を下回る実績で終えている。

利用者支援については、面会や外出の規制により感染症の発生はなかったが、利用者から規制に対して不満の声もあり、余暇の過ごし方の改善が必要と捉えている。

体制的には、常勤職員の退職がなかったことから、職員確保に苦慮した前年度と比較すると安定したサービスの提供を行うことができた。また、育児目的休暇や子の看護休暇などの周知を図り、取得を推奨した。

### 2、重点事項

#### (1) サービス提供体制の推進

利用者個々の受給者証に合わせた個別支援計画作成への切り替えについては、事前に家族への説明を行ったことで混乱もなく、年度内で終えることができた。

今年度から新たに開催した、相談員とサービス管理責任者との会議を継続し、情報の共有を図りながら個別支援計画作成を行っていきたい。

#### (2) 利用者に適した生活環境の提供

利用者の安全を確保するため、定期的に危険個所の点検を行い、手すりやトイレのバー、簡易ナースコールなどの設置を行った。

また、増改築については重度高齢化対策の他、安全面にも配慮した構造となるように話し合いを重ねた。

#### (3) 日中活動の充実

就労継続支援 B 型については、定員が増えたことから事業を増やし工賃確保を図った。生活介護については、利用者の高齢化に伴い、個々に合った支援や無理のない活動に努めると共に、機械設備の故障により年度途中で生産活動内容の再編成を行った。

#### (4) リスクマネジメントへの取り組み

事故発生件数は前年度より減少したが、県及東京都に提出した報告書の再発防止策について、内容に具体性を欠くとの指摘を受けたケースやマニュアルの再提出を求められるケースがあった。また、新規利用者が入所して直ぐの事故が多発したことから、発生時間が多い時間帯に職員配置を増やすために宿直体制をしいた。

さらに、事故分析・マニュアル検証・労務管理強化のため、次年度からリスクマネージャーで構成する委員会を立ち上げ安全対策の強化を図ることとした。

#### (5) 職員の資質の向上

施設内研修や勉強会については、開催時間を変更し参加しやすい体制づくりを行うと共に、希望している勉強会への参加が可能となるよう勤務の調整を図った。外部研修については、個々の希望及び経験年数、役職に配慮した派遣を行った。また、強度行動障害を有する利用者支援のスキルアップために養成研修受講の強化を図った。今後も受講修了者を増やし、重度加算算定に繋げていきたい。

#### (6) 地域や家族との連携強化

25周年を祝う会に後援会の皆さんに出席していただき、家族と交流の場を持てたことは有意義であった。また、イベントの開催や地域行事への参加、奉仕活動での交流については計画通り実施することができた。

防災については、地域住民と合同の避難訓練や炊き出し訓練実施に加え、防災会議では活発な意見交換が行われ、防災への意識向上に繋げることができた。

## 利用者支援

法人の事業転換に伴い4月から6月にかけて4名の利用者がもりの郷へ地域移行し、新たに3名の利用者が施設入所利用を開始した。女子1名が欠員となっており、関係機関と連絡を密にし早期の入所に繋げたい。

事故やヒヤリハットでは、特に上半期に怪我や誤薬事故の発生し、支援やマニュアルの見直し改訂に取り組んだが、職員間の連携の不備が要因となり、同じ事故が繰り返し発生してしまったことを踏まえ、ユニット内の環境や連携の仕方などの改善に努め、危機管理の徹底を図った。また、新たに入所した利用者の行動特性や環境に慣れない事による事故等が多く発生したため、11月から職員配置の見直しを行い、宿直勤務を併用することで事故防止と支援の充実を図った。安全、安心した生活ができるよう今後も配慮します。

地域交流では前田保育園・小学校の運動会やさつま芋堀交流、火祭り、森の夕べなど、地域の方とふれあう機会を大切に積極的に参加した。また、ボランティアと一緒に買物外や北鷹高校生とのクリスマス会などの交流も盛んに行われた。

感染症予防対策では、1月末から利用者の外出や面会規制の体制を敷き、外部業者にも協力をお願いし、感染症予防対策の徹底に努めた。利用者は罹患する事なく、一部職員の罹患に留めることができた。感染症に対する職員ひとり一人の意識付けを継続すると共に今後も周囲の状況を敏感に把握し、早めの対応に心掛けたい。

### (1) 施設入所支援

高齢化や重度化が進み、さらには年齢の差も広がっているため、利用者個々に合った支援計画を作成し、情報の共有、統一支援に努めた。

安全面では、事故やヒヤリハットの防止対策に努め、事故発生時には、ケース会議を開催し統一内容の検討を図り、居住環境の整備にも配慮した。また、高齢者や自ら訴える事が出来ない利用者の怪我などを発見するために入浴時のほか、就寝時や起床時に身体の確認を重視した支援に努めた。

### (2) 障害者福祉サービス(日中活動)

#### ・生活介護 定員78名→80名に増員

生産活動では、石けん製造、果樹栽培、野菜栽培、採卵は例年並みの生産販売ができた。また、アルミ缶回収プレスは、地域に設置している収集カゴを増やし地域への協力をお願いし還元する事ができた。

機能低下予防、体力維持活動では、熱中症などに注意し個々の状態を把握しながら活動メニューの取り組みを行った。

#### ・就労継続支援B型 定員12名→19名に増員

定員増により休憩場所を新たに設置し快適に過ごせるよう整備した。高齢化が進み、年齢や体力に合った作業内容になるよう工夫し、取り組みを行った。比内地鶏や原木しいたけ、季節野菜栽培の他、新たにアルミ缶プレス作業、採卵鶏の飼育を事業に加え、生產品の宣伝を強化し、工賃確保を図った。

## 事業報告

月	管理・運営関係	利用者関係
4月	2日 理事長訓示・施設長挨拶 21日 森吉家族会総会(32家族39名職員15名) 28日 やまね会総会(職員8名)	8日 音楽クラブ(15名) 15日 利用者自治会総会(67名、もりの郷含む)
5月	17日 入所希望者面接(1名) 18日 職員健康診断 26・27日 高圧ケーブル工事 28日 地域との防災会議 (理事長・本部事務長・消防署員・前田駐在所 自治会4名・後援会2名・職員8名) 29日 法人監事監査	7日 もりの郷へ地域移行(1名) 13日 前田小学校運動会(8名) 18日 利用者健康診断 20日 音楽クラブ(14名) 23日 地域清掃奉仕(11名・桜堤公園) 26・27日 高圧ケーブル工事に伴う外出(本体) 31日 もりの郷へ地域移行(1名) ※ユニットで避難訓練(1ユニット) ※一泊旅行(1G)・日帰り旅行(1G)
6月	4・5日 第三者評価受審訪問、聴き取り調査 9日 草刈りボラ(後援会17名・職員10名) 13日 比内支援学校体験実習～29日(2名) 17日 前田駅前祭典担ぎ手(5名) 16日 救命救急講習会(6名) 19・20日 入所希望者面接(2名) 20日 総合避難訓練(後援会2名) 22日 職員全体会議(36名) 22日 第1回勉強会「介護技術について」	2日 音楽クラブ(18名) 10日 あすなろ・あけぼの街合同BBQ(25名) 10日 新屋布祭典(2名) 13日 県北球技大会(18名・ニプロハチ公ドーム) 17日 前田駅前祭典(利用者2名) 20日 総合避難訓練 22日 森中交流(プルタブ、キャップ寄贈) 23日 東地区ボランティア外出 (利用者6名・ボラ2名) 28日 前田保育園苗植え交流会 (利用者15名・園児14名・先生2名) 30日 もりの郷「であいの家」へ地域移行(1名) ※一泊旅行(2G)・日帰り旅行(3G)
7月	4日 第三者評価受審合議 7日 まち美化活動(9名) 14日 草刈りボラ(後援会16名・職員14名) 17日 第三者評価受審訪問調査(3名) 21日 森の夕べ(後援会29名・家族31名 ボラ15名・前田小18名・総勢300名) 27日 土砂災害避難訓練(四季美館へ避難)	7日 音楽クラブ(8名) 11日 県北レク大会(利用者20名) 13日 自治会花植え活動(11名) 21日 森の夕べ 27日 土砂災害訓練(四季美館へ避難) ※一泊旅行(1G)・日帰り旅行(3G)
8月	6日 まち美化活動(11名) 7・8日 比内支援学校体験実習(1名) 20・23日 東北福祉大学体験実習(1名) 24日 夜間想定避難訓練・集合訓練(21名)	7日 七夕火祭り(踊り、絵灯笼行列(5名) 8日 自治会清掃活動(火祭り会場) 11日 夏季一時帰宅(東京8名・県内3名) 11日 本体残園者旅行(各ユニットで実施) 12日 東地区残園者旅行 19日 音楽クラブ(15名) 26日 東地区ボラお話し交流会(利14名・ボ2名) 30日 さわやか街夏祭り ※ユニットで避難訓練(1ユニット) ※一泊旅行(1G)・日帰り旅行(1G)
9月	14日 整備計画事業現地確認訪問 (東京福祉局保健生活整備担当2名) 21日 第2回勉強会「強度行動障害について」 22日 入所(1名) 26日 無届外出訓練	7日 地区敬老式(利用者2名) 8日 さわやか街ボラ利用外出 (利用者2名・ボラ2名) 8日 音楽クラブ(8名) 16日 神成祭典(利用者6名) 20日 五味堀いきいきサロン交流会(利用者9名) 22日 自治会BBQ(53名、もりの郷含む) 26日 交通安全キャンペーン 30日 東地区秋祭り(利用者20名) ※ユニットで避難訓練(1ユニット) ※一泊旅行(1G)・日帰り旅行(3G)

月	管理・運営関係	利用者関係
10月	5日 食肉加工センター営業許可更新申請 9日 BCP訓練(9名) 10日 北秋田振興局巡回 (比内地鶏食肉サンプル提出) 13日 草刈りボラ(やまね会 12名、職員 14名) 27日 森幸園開設 25周年を祝う会 (昼食会 197名、祝う会 124名) 29日 北秋田市共同募金「職域募金」(67名) 31日 新入所者契約(世田谷区)	3日 比内支援学校実習生受け入れ(~17日) 13日 さわやかボラ利用買物外出 (2名、ボラ1名、職員1名) 14日 前小学習発表会(4名、職員1名) 15日 神成だまっこ交流会(7名、職員5名) 17日 面会サービス:東京 <b>【3名(2泊:1名)職員4名】</b> 17日 前田保育園サツマ芋堀交流 (13名、園児13名、先生3名、比内支援 学校3名、職員3名) 19日 交通安全教室(48名、職員12名) 20日 音楽クラブ(13名) 28日 イベント販売(3名、職員2名・いとく鷹巣) ※ユニットで避難訓練を実施(1ユニット)
11月	1日 園内研修会(28名・発表者5名) 1日 外部講師研修会 講師:みらい工房 (41名 森泉荘、もりの郷含む) 8日 秋田県東京都委託施設連絡協議会7施設 (当番施設:友生園) 9日 健康診断(夜勤従事者) 9日 新任職員施設見学研修(13名・ 大野台吉野学園・生活支援センターささえ) 11日 地域合同避難訓練・交流会(消防署・ 消防団・警察・後援会 17名、職員 10名) 26日 第三者評価受審最終報告会	9日 健康診断 15日 五味堀地区ボランティア活動 (5名、職員3名) 29日 地震想定避難訓練(51名・本体、通所)  ※ユニットで避難訓練実施(1ユニット)
12月	3日 就労継続支援B型利用契約(もりの郷) 14日 インフルエンザ予防接種 21日 第三回勉強会 「虐待防止と権利擁護」(17名) 26日 東京都赤い羽根共同募金(10/1~12/31)	9日 音楽クラブ(9名) 14日 インフルエンザ予防接種(通所含む) 15日 自治会Xmas会(91名、高校生ボラ5名) 15日 交流昼食会(役員5名、高校生ボラ5名) 17日 歳末助け合い募金(1名・秋田市) 29日 冬季一時帰宅(東京方面9名・県内2名) 29・30日 残園者日帰り旅行(各ユニット単位) ※ユニットで避難訓練を実施(1ユニット)
1月	25日 やまね後援会新年会 (理事長、やまね会 22名、職員 9名) 31日 入所希望者面接(東京)	20日 さわやか街新年会(9名、職員3名) 20日 除雪ボラ(3名、後援会5名 職員8名)
2月	2日 救命救急講習会(森幸園 11名、法人 4名) 4日 日中活動生活介護利用契約(もりの郷から) 20日 BCP訓練(8名) 22日 第四回勉強会 「リスクマネジメント集計報告」(22名)	16日 除雪ボラ(職員2名、ボラ職員12名、 後援会5名、もりの郷利用者職員) 24日 音楽クラブ(7名)
3月	15日 園内研修発表会(30名 発表者:5名)	1日 前田小学校ベルマーク寄贈(1名) 3日 自治会総会(森幸園 63名、もりの郷 15名) 8日 アルミ缶回収地域還元(2名・大淵地区) 9日 東地区慰労会 16日 就労B型慰労会(16名・職員3名) 30日 アルミ缶回収地域還元(白坂地区) ※ユニットで避難訓練を実施(2ユニット)

# 平成30年度事業報告書

社会福祉法人 交楽会  
特別養護老人ホーム 森泉荘

## 総括

交楽会綱領に基づき、事業計画に沿った運営を行い利用者のサービスの向上に努めてまいりました。日々変化する利用者の対応は個別のケアが求められており、職員個々の実践技術の向上とチームワークの取れた介護が求められております。このことから、毎日の生活を活気あるものとするため、余暇活動を積極的に取り入れ、生活に生き甲斐感をもたらすよう努めております。

施設運営関係では、介護職員処遇改善が求められるなど、高齢者福祉の取り巻く環境がますます厳しくなっております。そのような中で1月～2月に感染症が発生し対応に当たりましたが、インフルエンザからノロウイルス発症により新規入所者の受け入れを停止せざるを得ない状況となり、収入を確保することが出来ませんでした。その他業務の見直し、コスト意識の醸成など、創意工夫の上適正な運営管理に努めております。

施設事業関係では、恒例行事として敬老式を9月に開催、たくさんの方をお迎えし盛会理に終えております。また、森吉山麓たなばた火まつりの見学、施設内で阿仁前田獅子踊り保存会の伝統芸能披露会の開催など地区の一員として地元地域事業に協力しております。

地域交流推進事業として「観桜会・環境整備事業・もちつき会」の3事業を実施しました。観桜会は、地元下前田自治会の参加により、利用者との交流を深めております。

また、ボランティアでお見えになる方々を対象に「介護教室」を計画しましたが、今年度は開催することが出来ませんでした。引き続き事業計画として介護に関連したさまざまな情報を提供していきます。

(利用者の実績)

(入所率%)

	本年度実績	昨年度実績
長期利用者	96.8	97.1
短期利用者	97.9	96.3
全体	97.0	96.9

## 重点目標

### 1. 明るい職場づくり

職員の職場に対する意識の取り組み、そこから生まれる利用者支援（介護）を大切にするため「いつも笑顔で元気よく」をモットーに職員と職員、そして職員と利用者の中に信頼意識が生まれる環境づくり、職場の規律を遵守することによる専門性の向上・安心感・信頼感のある職場づくりに努めました。

## 2. 実践を主体とした介護

利用者の接遇について、職員は常に思いやりの精神を持ち、個別ケア実践のため外部研修への参加や施設内研修の開催など、職員の資質及び介護技術の向上に努めました。

また、利用者のニーズに沿った余暇活動を実施し、心身機能維持に努めるとともに、事故防止には最善の注意を払い、報告・連絡・相談・記録の徹底に努めました。

## 3. 衛生管理の徹底

利用者が快適に生活できるための環境づくりを行い、おだやかに落ち着いて毎日を過ごすことができるよう、衛生管理・清潔保持に努めました。

## 4. 医療看護の適正

褥瘡予防の取組みとして早期発見・早期対応を心がけるとともに、身体異常・機能低下の著しい利用者には、適切な対応を心がけました。

感染症予防には職員への徹底した予防対策指導により、施設内に感染症が発生しないように予防の徹底に努めましたが、感染性胃腸炎(ノロウイルス)の集団発生があり今後の課題となりました。その他の対応としては利用者一人ひとりの身体機能の維持・向上に努めるとともに、利用者の尊厳を尊重し、寄り添い思いやる看護に努めました。

## 5. 栄養管理と食環境の保全

食事は利用者の重要な楽しみのひとつです。常に食材等の栄養・品質管理に努め、個々の嚥下状態に応じた食事の提供、選択食や行事食も随時取り入れるなど、食事に対する意欲を引き出すよう努めました。また、厨房機器等の衛生管理も併せて、安全・安心な食事の提供に努めました。

## 6. 災害防止と対策の確立

年間防災計画に基づき、自主防災組織における防災訓練を実施し、非常時には地域自治会の協力を得られるよう訓練に参加していただきました。また、防火管理計画に基づき消防設備の点検整備及び火気設備・非常口・避難場所の点検を実施し、災害防止に努めました。消防法施行規則一部改正により火災報知設備連動工事を実施し、非常時に速やかに対応できるよう体制を整えました。水害対策として各職員がリフトカー操作をスムーズにできるよう学習会を行いました、

## 7. ご家族・地域とともにある施設

利用者と家族、そして地域住民との繋がりを大切にし、親しまれる施設となるように、地域交流推進事業の開催や福祉ボランティア・介護実習生の受け入れ等を積極的に取り組みました。



## 事業報告

	管理運営関係	利用者関係
4	1日 開設記念日(36回目) 2日 理事長訓示 12日 運営会議・サービス改善向上委員会 26日 職員会議・支援課会議	9日 理容の日 12日 誕生会 22日 カンファレンス
5	1日 地域交流観桜会(下前田自治会) 9日 職員健康診断 10日 運営会議 14日 消防査察 24日 職員会議・支援課会議	5日 端午の節句 10日 誕生会 15日 理容の日 27日 カンファレンス 30日 チャレンジデー
6	7日 運営会議 24日 地域交流(下前田自治会道払い作業) 28日 前期入所調整委員会(外部委員2名) // 職員会議・支援課会議	7日 誕生会 11日 理容の日 21日 前期避難訓練(総合)(下前田自治会参加) 24日 カンファレンス
7	5日 水害防災訓練 // 運営会議・サービス改善向上委員会 10日 秋田北鷹高校2年生2名インターンシップ～12日 20日 職員会議・支援課会議 26日 ボイラーストレージタンク清掃整備～27 // 地下重油圧力タンク清掃検査～27	5日 誕生会 9日 理容の日 13日 吉田リエ様 100歳長寿を祝う会 22日 カンファレンス 23日 スイカ割 29日 カンファレンス
8	9日 運営会議 20日 秋田看護福祉大実習受入1名～9/11 27日 職員会議・支援課会議 30日 施設内ワックスがけ～31	2日 誕生会 6日 結核検診 6日 理容の日 7日 森吉山麓七夕火まつり見学 15日 阿仁前田獅子踊り見学 22日 お盆供養 26日 カンファレンス
9	6日 運営会議 11日 秋田看護福祉大実習終了1名 25日 介護サービス情報の公表調査 27日 職員会議・支援課会議	6日 誕生会 10日 理容の日 14日 敬老式 20日 吉田リエ様100歳長寿内閣総理大臣感謝状贈呈式 23日 カンファレンス
10	11日 運営会議・サービス改善向上委員会 15日 介護補助ロボット(マッスルスーツ)デモ 18日 窓ガラス清掃～19日 21日 貯水槽清掃	4日 誕生会 8日 理容の日 9日・11日 利用者心電図①② 18日 後期避難訓練(下前田地域住民参加)

	管 理 運 営 関 係	利 用 者 関 係
10	25日 職員会議・支援課会議	23日 水月聖観音供養、御詠歌 25日 だまっこ会(七曲婦人部参加) 28日 カンファレンス
11	1日 森泉荘だより第61号発行 6日・13日 インフルエンザ予防接種①② 8日 運営会議 12日 夜勤者健康診断 15日 施設内研修「腰痛予防」外部講師 19日 特定保健指導 22日 職員会議・支援課会議・就業規則改正説明会	1日 誕生会 〃 感染症対策強化開始 5日 理容の日 16日 インフルエンザ予防接種 25日 カンファレンス 26日 ゲーム大会
12	1日 新電力へ契約変更 6日 運営会議 10日 消防設備点検 20日 職員会議、支援課会議	6日 誕生会 10日 理容の日 14日 ちゃんこ鍋の日 23日 カンファレンス 24日 クリスマス献立 28日 地域交流餅つき会
1	17日 運営会議・サービス改善向上委員会 24日 職員会議、支援課会議 30日 入所調整委員会(外部委員出席)  ※1/11 面会場所の制限(感染症対策) ※1/25 面会等完全制限開始(感染症対策)	10日 新年会 14日 理容の日 18日 誕生会 27日 カンファレンス 31日 宝引大会
2	7日 運営会議 14日 北秋田保健所感染症状況調査 26日 北秋田保健所感染症終息宣言の指示 27日 後期入所調整委員会(外部委員2名) 28日 職員会議、支援課会議、学習会	7日 誕生会 24日 カンファレンス
3	7日 運営会議、給食委員会 9日 ノロウイルス対応解除～面会再開 28日 職員会議・支援課会議  ※感染症対応 1/25～3/8 面会制限 2/7 ノロウイルス発症 利用者8名、職員8名罹患 計16名 3/8 施設内終息宣言	7日 誕生会 11日 理容の日 14日 喫茶いずみ 18日 風船バレー 24日 カンファレンス

# 平成30年度事業報告書

社会福祉法人 交楽会  
複合ケアセンター もりの郷

## ◎総括

職員の異動や人員を確保しながら運営してきたが、サポートホーム、グループホーム、デイサービスともに目標の利用率を達成することが出来なかった。

サポートホームにおいては、満床に向けて森幸園から4名の利用者を受け入れるとともに、各居宅支援事業所にも対象利用者の募集をかけたところ5名の申し込みがあったが、面談時の状況等を踏まえた結果、3名は対象外と判断し、2名の利用者の入居を受け入れた。現在2床の空きがあるため、継続して各関係機関と情報を密に図りながら早期に満床になるように努める。

グループホームにおいては、発症による入院者の増加と急変による退居者が短期間に発生し、入居者の確保に苦慮した。

デイサービスにおいても、利用者の入院や通所終了等により契約者人数が減少。また、職員体制が整わず利用者、家族のニーズに沿えない状況があり、新規契約者の獲得にも苦慮した。今後は地域密着型の特徴を活かし、利用者、家族のニーズに沿った在宅生活を支えていけるように努める。

## ◎重点取り組み報告

### (1) グループホーム共用型通所介護への取り組み

さくら館4名、コスモス館6名の入退居に伴い、新しい利用者が入居することによって、入居時の行動、精神の安定を図るのに時間が掛かり、また利用者の状態が不安定であったため、事業を円滑に進めることが出来なかった。居宅等を回ると「共用型通所があれば便利だ」との要望もあるため、今後は職員、利用者の状況を見ながら、共用型通所介護を開始できるように努める。地域サロンの取り組みに関しては、地域福祉講座を多く取り入れ、地域の方に必要とされる施設になれるよう、今後も定期的を開催する。

### (2) サポートホームの増床を図る

9名の増床に対して7名の入居に留まった。入居申し込みの方には、精神疾患、身体障害、内部障害など現入居者との身体的ギャップがあり、内部障害に関しても医療的ケアが必要であるため、現体制では受け入れられない状態と判断。また、入居後の日中の受け入れ事業所が近くになく、日中の支援体制がないサポートホームでは、受け入れることが出来なかった。今後は、森幸園の生活介護や就労継続B型を利用できる方が入居出来るように、各関係機関と連絡を密にして満床を目指す。

### (3) サービス計画作成への取り組み

新任職員など、サービス計画を理解出来ていない職員がいるが、計画に沿った統一支援に心掛け、ADLの低下、生活の質の向上を目指してきた。また2ユニットともに入退居が続き、利用者全体の安定を図る必要性があり、個別支援が疎かになった所があった。今後は、新しい入居者の安定とともに、個別支援計画の見直しをしながら、心身の維持や向上を図る。

### (4) 災害時避難誘導の確立

5月18日の大雨により、サポートホーム「もりの郷」と「であいの家」の利用者が森幸園へ、グループホーム「もりの家」はもりよし荘へと避難した。災害時緊急避難マニュアルのもと、人命を優先するとともに、避難時の持ち出しリストも確認しながら、慌てること無く避難する。今後も立地用件を踏まえた訓練を定期的に行い、迅速に対応出来るよう有事に備える。

### (5) メンタルヘルスへの取り組み

ストレスチェックにおいて高ストレスの割合はなかったが、職員配置換えにより気分の落ち込み等が見られた職員がいたため、離職に繋がらないようコミュニケーションを図る。

## (6) 資格取得への取り組み

今年度は、介護福祉士合格者1名、社会福祉主事任用資格者1名。サービス管理責任者研修、強度障害支援者養成研修も受講し、今後必要な資格を取得している。また講習等があった際は、勤務シフトを調整し、講習に行きやすいように配慮している。

## ◎事業実績 (%)

事業所名	平成 30 年度計画	平成 30 年度実績	前年度実績
サポートホーム 郷	93.2%	89.0%	97.9%
GHもりの家(さくら)	98.0%	96.1%	95.1%
もりの家(コスモス)	98.0%	89.4%	93.5
デイサービス 郷	80.0%	66.7%	83.4

## ○各事業所活動報告

### 1. サポートホーム

#### (1) もりの郷

今年度サポートホームの増床に伴い、新たに7名の利用者が入居し、新生活をスタートしている。現在は、サポートホームでの生活にも慣れつつあり、合同外出やデイキャンプ、昼食会などを企画、時間を共有していく過程において対人、信頼関係が構築されるように支援している。また高齢化を受け、身体機能低下が著しい利用者も見受けられるため、日常生活動作の進捗を把握しながら、個々によっては、住まいの場の移行も行なっている。

余暇日には、個々のニーズに合わせて、個別外出や理容外出、誕生日外出、コンビニ外出などの機会を設けて、社会的マナーの意識付けやリフレッシュに繋がるよう支援している。

#### (2) であいの家、陣場岱ハイツ

であいの家に新しく利用者が入居したことで、利用者間のトラブルが懸念されていたが、快く受け入れてくれた利用者達のおかげで、地域の中で安定した共同生活を送っている。また家事全般においても、役割分担表をもとにお互いを認め合う姿勢で取り組めるよう、食事づくりや盛り付け、片付け、室内の掃除などの支援に努めた。

地域交流においては、4・10月の一斉クリーンアップを始め、6月の新屋布祭典、灯籠流しなど、各催し物には積極的に参加し、地域住民との触れ合う時間を大切してきた。

陣場岱ハイツでは、利用者間のトラブルや物損事故があったが、その都度要因について話し合いの場を設けて、迅速に対処してきたことで、重大事故に至ることはなかった。また余暇日を通じて、週1回コンビニ外出を実施し、予算内を意識した買い物を支援している。

地域交流においては、地域住民の一員として一斉クリーンアップや灯籠流し、9月は神成地区祭典にも参加し、地域の子供達とも交流を図ってきた。

## 2. グループホームもりの家（さくら館）

入居者に伴い、入居者が早く生活に馴染み、安心して生活が送れるように支援に努めた。また、家族と相談しながら、現在の身体状況であれば自宅復帰も可能と話し、サービス計画を立て自宅復帰に繋げることが出来た。また新しい職員が入ったが、退職者もあり慌ただしく過ぎた感があったが、少しでも入居者に不安を与えないよう、入居者の状態把握を始め、業務の確認や職員間で協力し合いながら、事業計画に沿って行事や研修等を実施し、地域の方との交流も深めることが出来た。入居者によっては帰宅要求への対応や心身機能の低下に伴い、健康管理や機能維持などに努めながら、身の周りの出来ることを取り入れ、家事作業などに積極的に取り組めるよう支援している。今後は体操やレクリエーションなど日中支援の充実を図りながら、楽しみや活気のある生活が送れるよう努める。

## 3. グループホームもりの家（コスモス館）

入居者の健康状態について、職員間の連携を図ってきたことで、異常時の早期発見に努めることができた。しかし感染症においては、利用者や職員がインフルエンザに感染し、施設内に蔓延しつつあったため、迅速に感染症拡大防止策を講じながら、入居者の健康管理に努めた。

行事に関しては概ね計画通りに実施することができ、入居者の要望をなるべく取り入れた計画を立てることができた。また個別外出に関しては、計画通りに実行することができなかつたのが課題に残る。

ケアプランに関しては、少しでも以前の生活スタイルを取り戻せるように、入居者個々に合せたプランの作成に努めた。

行事だけではなく日常生活においても、家族との連携を図ることが少なからずできたが、交流に関してはあまり思うようにできなかった。地域交流については、祭典への参加や子供会との交流は図ってきたが、より入居者と地域が関わりを持てるような工夫が必要と思われる。

## 4. デイサービス

今年度の利用率は予防も含めて 66.7%であり、今年度目標の 80.0%を大幅に下回る結果であった。要因としては、職員不足による土曜日の一時休業や個々の要望を取り入れた行事、外出、買い物外出の減少に伴い、施設内での集団的支援が多くなり、地域密着型としての特徴が薄れたことで、新規利用者の獲得に苦慮した点が考えられる。

今後は、小規模である利点を活かし、利用者や家族のニーズに沿えるような個別支援プログラムの作成及び、身体機能の維持や認知症予防などの訓練、レクリエーション等の施設内プログラムを見直し、さらに地域との交流も積極的に行えるように努力する。

## 事業報告

月	管理・運営関係	利用者関係
4月	1日 広報17号「ひらさと」発行 13日 第1回施設長連絡会議 20日 SH家族会総会(4家族・5人参加) 郷非常時炊き出し訓練 20日 運営会議	14日/15日 クリーンアップ実施 (GH・SH) 17日 DSキルト教室 24日～30日 観桜会 (GH・DS) (国花苑・阿仁川河川敷)
5月	15日 ハイツ消防査察 18日 SH利用者健康診断 19日 GH家非常時炊き出し訓練 22日 運営会議 23日 地域運営推進会議(GH) 29日 郷監事監査	5日 SH合同ドライブ (大潟村) 11日 さくら・コスモス合同観桜会 19日 ハイツグループ外出(大館) 31日 DS外出(芝桜見学)
6月	4日 GH家深夜想定避難訓練(地域参加6人) 7日 地域福祉講座「介護技術Ⅲ」 (米内沢駅前自治会 12名) 15日 運営会議 19日 第1回施設内研修 (参加16名) 「身体拘束と虐待」 28日 DS郷避難訓練	10日 新屋布祭典 (神輿・民謡・踊り見学) 13日 SH県北球技大会(大館) 17日 前田駅前祭典 (神輿・民謡・踊り見学) 20日 DS郷キルト教室 20日 GHさくら館外出(バラ園見学) 22日 GHコスモス館ピクニック (北欧の杜) 23日 ハイツグループ外出(打当温泉)
7月	7日 各事業所七夕食事会 20日 運営会議 12日 SH郷・GH家無届外出搜索訓練 28日 もりの郷・GHコスモス館ワックス	5日 SHスマイルフーズ泊旅行(気仙沼) 8日 SHデイキャンプ(敷地内) 11日 SH県北レクリエーション(大館) 13日 GHコスモス館紫陽花見学 17日 森幸園もりの夕べ 18日 GH家地域運営推進会議 23日～28日 田んぼアート見学 (DS)
8月	1日 広報18号「ひらさと」発行 1日 森吉中学校職場体験(DS郷・GH家) 3日 北林会計外部監査 4日 GH家峠のシルバーファイブ慰問 7日 郷ふれあいフェス 8日 北鷹高校施設見学 9日 GH家ワックス 11日 SH一時帰宅(～17日) 18日 運営会議 21日 第2回施設内研修 (14名) 「リスクマネジメント」 23日 サービス管理責任者スキルアップ 28日 GH管理者研修(～29日) 30日 GH家施設利用者等処遇指導再調査	6日 地域ねぶ流し (ハイツ・であい) 6日 子供会との交流会 (GH家) 9日 GHさくら館外出(深浦) 11日 SH残郷者日帰り旅行(森吉山荘) 13日 DS郷外出(能代方面) 16日 DSキルト教室 17日 GHコスモス館外出(青森田舎館) 30日 DS生け花教室
9月	10日 強度障害者支援者研修 11日 GH家虹色パレット慰問 14日 GH家サービス公表調査 19日 GH家地域運営推進会議 21日 運営会議 26日 DS郷地域運営推進会議	7日 森吉地区敬老式(SH3名・GH1名) 9日 米内沢駅前祭典 15日 DS郷買物外出 16日 神成祭典 22日 SH思いやり自治会バーベキュー大会 23日 SHであいカラオケ大会

月	管理・運営関係	利用者関係
10月	11日 各事業所夜間想定避難訓練 19日 運営会議 20日 GH家族会・第三者委員会開催	6日 郷ハイツ個別外出、郷列車外出 13日 SHグループ外出 14日 GH米内沢小学校学習発表会見学 16日 GH紅葉ドライブ 18日 DS温泉外出(縄文の湯) 19日 DSキルト教室 22日 DS買い物外出 26日 DS外食(上小阿仁)
11月	1日 第3回施設内研修(森幸園主催) 「介護技術講習」(11名) 7日 サービス管理責任者研修(秋田市) 9日 職員健康診断 13日 全体職員会議 地域福祉講座(米内沢駅前自治会館) 「認知症予防コグニサイズ」(参加16名) 16日 運営会議 20日 地域福祉講座(前田駅前自治会館) 「認知症サポーター養成講座」(参加10名) 21日 「実」との打ち合わせ 保健指導 27日 前田小学校職場体験	9日 SH利用者健康診断 11日 SHグループ外出 13日 GH米内沢駅前老人クラブ交流会 20日 GHさくら館季節外出(ハタハタ館) 30日 DS昼食会
12月	3日 高齢者虐待防止セミナー(秋田市) 7日 運営会議 6日 初任者研修 18日 第4回施設内研修(9名) 「感染症について」 19日 地域福祉講座(向本城自治会館) 「いきいき体操」(参加 16名) 24～26日 各事業所クリスマス会 27日 各事業所餅つき会 29日 SH一時帰宅(11名)	6日 DS買い物外出 14日 SH利用者予防接種(森幸園) 15日 SH思いやり自治会クリスマス会 DSキルト教室 29日 SH残園者日帰り旅行(12日) GH訪問看護開始(毎週火曜日)
1月	1日 元旦 11日 運営会議 16日 GH家地域運営推進会議 19日 DS炊き出し訓練・26日 GH炊き出し訓練 30日 障害者支援施設岩手大会(盛岡市)	8日 GH新年を祝う会 10日 DS新年会 20日 SHグループ外出
2月	2日 救急救命講習(森幸園3名) 8日 運営会議 12日 知的障害者福祉施設職員研修 19日 第5回施設内研修(地域込み37名) 「腰痛予防」 22日 DS地域運営推進会議 28日 地域づくり講習会(コムコム)	3日 各事業所節分食事会 16日 除雪ボランティア(SH利用者3名) 17日 SHグループ外出(打当温泉)
3月	1日 秋田県北障害者福祉協議会会議 5日 運営会議 6日 GH地域運営推進会議 9日 介護支援専門員総会 13日 苦情解決担当者会議 14日 前田保育園卒園式 20日 障害者総合支援法説明会(秋田市) 交楽会新任研修	3日 各事業所ひな祭り 9日 SH慰労会 18日 DS手作りおやつ 23日 SH慰労会